

# 株式会社ジェイコムさいたま 東上局

## 2012 年度 放送番組審議会 概要

2012 年度の放送番組審議会は 2013 年 3 月 5 日(火)に J:COM 東上で開催された。

### <放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

岩 下 隆 様 原 鉄 郎 様 水 野 美 代 子 様  
梶 里 美 様 宮 寺 聖 治 様

ご欠席

永 峯 弘 之 様(委任状受領)

事業者側から現況報告、J:COM チャンネルの報告があった。

### 【質疑応答・意見交換】

(HD 化による映像品質の向上ほか)

委員 HD 化で画像が綺麗になった。地域の災害情報の提供も助かるサービスである。J:COM チャンネルに出演した障害児の皆さんは喜んでいて、勇気づけられたのだと思う。  
事業者 様々な番組取材を通じて、エリア視聴者の方々には、例えば一生に一度は J:COM チャンネルに出演していただきたいと思っている。

(文化系イベントの事前 PR について)

委員 各種文化系のイベントを PR したいので、J:COM チャンネルでも取り上げてほしい。  
事業者 事前告知にも力を入れていく。

(高齢者への生活援助対策)

委員 高齢者に向けてどんな生活支援が考えられるか。(テレビを見ない人含む)  
事業者 J:COM では、高齢者の皆さんが楽しんでいただける様々なサービスの充実化も図っている。例えば、CS チャンネルで「歌謡ポップチャンネル」の導入やタブレット端末を活用し、自宅にいながら食料品、日用品等の購入・決済サービスや安否確認サービスなどによるサポートを検討している。

(制作チームの取材件数、社会問題への取り上げ)

委員 去年の取材件数(175件)を伺うと、制作・取材班の強化が必要なのでは。  
地域の社会問題の深層まで取り上げることは出来るのか。

防災訓練を取り上げていたが、うまくいった部分だけでなく、スムーズにいかなかった部分も取り上げると良いのでは。「何のための訓練か、だから訓練する」といった取り上げ方もあって良いと思う。

事業者 制作は外部の制作会社にも業務委託しながら、バランスを取って行っており、現状では支障はないと判断している。社会問題ネタは、埼玉新聞記者が出演する4月からの新番組内でのニュース解説などである程度カバーしたい。

事業者 コミュニティチャンネルにおける報道の導入は、今後の課題として捉えている。

(ツール・ド・フランス埼玉大会の放送化)

委員 今年開催される埼玉大会の様子はJ:COMチャンネルで中継されるのか。

事業者 現時点では未定。取材は実施する。

(STBへのご要望)

委員 現行STBに対して、録画機能の充実化など、改善を希望する。

事業者 次世代STBにて研究したい。

(まとめ)

委員長 全体を通して、J:COMが進歩した印象を持った。今後、報道への取り組みが課題。

以上